



ありがとう 丸亀城内グラウンド!

クローゼンイベントへの多数のご来場、ありがとうございました。どれだけ皆さんに愛されていたグラウンドかが心にしみました。これからは石垣の修復です。

3月定例会

2月22日～3月23日

主な内容

- 本会議のあらまし……………2
- 議案質疑……………3
- 代表質問……………4～5
- 総括質疑……………6～9
- 意見書・請願・陳情……………9
- 委員会審査……………10～11
- 討論……………11
- 議案の内容……………12～13
- 審議した議案とその結果……………14～15
- 議会報告会・編集後記……………16

3月定例会

平成28年度一般会計予算

408億円 原案のとおり可決

本会議の あらまし

3月定例会は、2月22日から3月23日まで31日間の会期で開かれました。

初日は請願第1号「戦争法（安全保障関連2法）の廃止と安倍首相の憲法尊重擁護義務順守を求める意見書の提出に関する請願書」と陳情受理番号(1)「公契約条例の制定による適正賃金・労働条件の確保と地域経済の振興を求める陳情」を総務委員会に付託し、平成27年度関係18議案について、委員会付託を省略し、3名が質疑を行いました。

議案第1号、第11号、第12号、第15号について1名から反対討論があり、同議案を分離し

て採決した結果、賛成多数で原案を可決し、残りの14議案は一括採決により原案を可決しました。

続いて総額408億円の一般会計予算など平成28年度関係29議案が提案され、市長の市政方針と副市長から提案理由の説明がありました。その後、予算を集中的に審査するため、予算決算特別委員会を設置しました。

26、29日は、志政会・市民クラブ・明友会・市民の声・公明党・元気会・日本共産党の各会派代表が、市政方針と新年度予算について代表質問に立ち、3月1日～3日は、新年度予算や市政全般について、12名が総括質疑を行いました。

総括質疑終了後、28年度関係議案は常任委員会と予算決算特別委員会に付託され、7日に総務、8日に教育民生、9日に生

活環境、10日に都市経済委員会、16日に予算決算特別委員会で細部にわたって審査されました。

23日の最終日は、委員会付託されていた議案と請願、陳情の審査結果について、各委員長から請願、陳情は採択、議案はいずれも原案承認との報告がありました。

議案第19号、第28号、第29号、第41号について1名が反対、請願について不採択を求める討論が2名からあったことに伴い、同議案と請願を分離して起立によって採決しました。

その結果、議案はすべて賛成多数で可決し、また、請願第1号は起立採決により、不採択となりました。

また、議案第48号と第49号が追加提案され、1名が質疑を行いました。採決の結果、原案を可決しました。

また、諮問第1号「人権擁護委員候補者の推薦」について原案を同意し、その後、議員提出議案第1号と議員派遣第1号、意見書案第1号を可決しました。

最後に市長から年度末に当たり、あいさつし、今期定例会は閉会しました。

人事案件

今期定例会に提案された人事案件は次のとおり（敬称略）。

▼人権擁護委員

南条町 原田 義郎
綾歌町栗熊東 小川 安清

議会改革特別委員会

（新） 松永 恭二

予算決算特別委員会を 設置し集中審議

（◎委員長 ○副委員長）

◎多田 光廣	○横川 重行
川田 匡文	真鍋 順穂
松永 恭二	水本 徹雄
佐野 大輔	神田 泰孝
小橋 清信	山本 直久
岡田 剛	大前 誠治
三宅 真弓	中谷真裕美
尾崎淳一郎	加藤 正員
藤田 伸二	三谷 節三
福部 正人	内田 俊英
国方 功夫	片山 圭之
松浦 正武	三木 まり

議案に対する

質疑

質問者・項目

太字の項目は要約文を掲載

藤田伸二

丸亀市職員の給与に関する条例等の一部改正

加藤 正員

一般会計補正予算（税込減、地方創生加速化交付金）

中谷真裕美

① 一般会計補正予算（家具転倒防止設置支援補助金・おむつ購入助成費・うちの常設展示館・物産館整備事業費）

② 市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正
③ 議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
④ モーターボート競走事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正
⑤ 市税条例の一部改正

加藤 正員

① 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
② 一般会計補正予算（地方創生加速化交付金）

給与の総合的見直し 柔軟な対応は可能か

◎ 藤田議員 提案の給与制度見直し

直しが実施されると、給与水準が下がり地域手当を支給する高松市や坂出市などと差がつく。人材確保のためにも給与が他市町と見劣りしないよう、柔軟な運用が必要ではないか。

▲ 市長公室長 地域手当は基本的に国の給与制度に準拠すべきものと考えている。しかしながら、地域手当の支給地の指定には、地域性の捉え方に差が出ていると感じる。地域手当については今後、県の給与水準や県内の支給状況を注視しながら、近隣市町の動向も参考に、引き続き研究し、あり方も含め市民の理解が得られる給与制度の構築に努めたい。

新たな手法で 街なか活性化を

◎ 加藤議員 地方創生加速化交付金を活用して「街なか活性化推進事業」「街なか魅力向上推進事業」など新しい事業に取り

組むが、これまでの空き店舗活用などと比べて、どういう効果を見込んでいるのか。

▲ 市長公室長 今回取り組むリノベーションは、空き家が住宅や店舗に生まれ変わることで新たな価値が加わり、新しい人や物の流れが生まれるなど、民間主導の自立的なまちづくりが進む効果が期待できる。

街なか活性化は、これまでも狙いとしてきたが、異なる立場の多様な人が関わるので、これまでと違った新しい切り口が生まれることも期待される。

市民生活によい制度 活用されるよう

◎ 中谷議員 家具転倒防止設置支援補助金とおむつ購入助成費を大きく減額補正する予算が提案されている。事業目的達成のために、どのような改善策が考えられるか。

▲ 市長公室長 家具転倒防止設置支援補助金が低調だったのは広報活動の不足が要因だと考えられる。今後も防災意識の啓発とあわせ、粘り強く周知し、補助制度の活用促進に努めたい。

▲ 健康福祉部長 おむつ購入助成は、対象者に情報が届きにくかったことが利用者が増えなかった理由の一つと考えられる。ケアマネジャーや老人介護支援センターなどと連携して周知に努め、職員が高齢者宅を訪問することも検討する。

育児用品貸し出し 手続きはどのよう

◎ 加藤議員 育児用品の無料貸し出しが4月1日から始まるが、制度概要と貸し出し場所など、具体的な手続き方法は。

▲ こども未来部長 貸出用品はベビーベッド、チャイルドシート、ベビーカー、ゲートサークル、ベビーバス、ベビーチェアの6種類。新規購入や市民から譲っていただいた物で賄うが、不足することが予測されるため、追加購入したい。

利用できるのは、市に住民登録があり、小学校就学前までの乳幼児の保護者か養育者であり、受け付けは4月1日からひまわりセンター、飯山・綾歌保健福祉センターの3カ所で行う。詳しくは社会福祉協議会へ。

代表質問

会派・質問者・項目

太字の項目は要約文を掲載

- 志政会 小橋 清信
 ①空き家対策②藩校サミット開催 ほか
 市民クラブ 藤田 伸二
 ①市政全般②エネルギーの地産地消について ほか
 明友会 三谷 節三
 ①少子化対策②情報保護対策 ほか
 市民の声 片山 圭之
 ①まちづくりは人づくり②歴史博物館 ほか
 公明党 内田 俊英
 ①子育て支援事業「まる育サポート」②駅前的美観戦略 ほか
 元気会 神田 泰孝
 ①児童虐待防止②ふるさと納税 ほか
 日本共産党 尾崎淳一郎
 ①市長の政治姿勢②子育て支援と子供の貧困対策 ほか

志政会

藩校サミット開催 本市ににぎわいを

◎小橋議員 四国で初となる全国藩校サミットが11月に開催されるが、京極の歴史文化を振り返り、地域づくりに生かしたり、観光振興に役立てたりすることが肝要である。市として大会主催者への支援策は。

▲産業文化部長 市が事務局となつて、歴史研究NPO法人をはじめ、コミュニティや各種団体で組織する実行委員会を昨年立ち上げた。主催は漢字文化振興協会と実行委員会ではあるが、市も実行委員会と両輪となつて取り組みたい。まずは藩校サミットの意義について理解していただくことが重要であるの

議会に関する意見・感想募集します。



【連絡先】
丸亀市議会事務局
TEL 24-8828
丸亀市大手町2-3-1

メールアドレス
gikai@city.marugame.lg.jp

で、丁寧な周知に努める。

また、企業や団体、個人からの協賛に頼る部分が大きいことから、実行委員会と連携して資金の確保にも努め、併せて本市を大いにPRしたい。

市民クラブ

エネルギー地産地消 市が進める考えは

◎藤田議員 2020年予定の発送電分離で、送電網利用料が下がるのが予想されている。

そこで、本市が中心となつて太陽光やバイオマスなども活用できるような定住自立圏レベルでの新電力立ち上げについて、調査研究を進めてはどうか。

▲市長 私は再生エネルギーの可能性に確信を持っているが、エネルギーの地産地消実現には、太陽光だけでなくバイオマスや小水力なども含めた多様な再生可能エネルギーを導入し、安定性を向上させることが必要である。さらに、必要なエネルギー量を賄うためには、ある程度大きな設備や資源が必要であることから、広域での地域新電力の立ち上げについても検討す

べき課題の一つであると認識している。今後も様々な角度から調査研究を進めたい。

明友会

市の情報 セキュリティ対策は

◎三谷議員 マイナンバー制度が実施され、一層の情報セキュリティが求められる中で、市が持つ情報の安全対策はどのような状態にあるのか。また、中讃広域行政事務組合の状況は。

▲総務部長 本市では情報系システムのLGWANとインターネットシステムを運用しており、パスワード認証、不審なメールや通信の自動拒否、業務に不要なウェブサイトの閲覧制限、記憶媒体による情報持ち出し禁止など様々な対策を講じている。また、中讃広域行政事務組合では、マイナンバーを含む基幹系システムを運用しているが、独立した閉鎖的ネットワークで運用されており、外部から侵入できない運用としている。今後、新たに生体認証の追加など万全を期したセキュリティ対策を行う。